

3. 車種別区分 (表-2)

(1) 特装车

* 2023年までの区分は下記に表示しています。↓

項 目		解 説	旧区分	
ダンプ車	リアダンプ	荷台を油圧装置等の力で後方に傾け、積載物を放出する構造の車両		
	三転ダンプ	荷台を後方、左右方、三方向に油圧装置等の力で傾け、積載物を放出する構造の車両		
	深掘りダンプ	軽比重の積載容積、荷台を油圧装置等で後方に傾け積載物を放出する構造の車両		
	その他	建設機械も運搬可能な構造の車両		
	建機運搬兼用ダンプ	サイド、リフト、ボトムダンプ等特殊荷台形状の車両	その他	
タンクローリ	石油類	石油類を運搬するタンクローリ		
	毒劇物	毒劇物を運搬するタンクローリ		
	散水・給水			
	食品	食品を運搬するタンクローリ		
	その他	化学薬品・その他を運搬するタンクローリ		
高圧ガスタンクローリ	LPG			
	その他			
トラックミキサ車	アジテータ	生コンクリートをかくはんする装置を有する車両		
	ドライ	現地で生コンを製造する装置を有する車両		
	その他			
粉粒体運搬車	エア式	エアレーションブロー式(単車及びフルトラクタ)	セメント、フライアッシュなど	
		エアスライド式(単車及びフルトラクタ)		
		ダンプ併用式(単車)		
	スクリュウ式	スクリュウ式運搬車(単車及びフルトラクタ)	飼料など	
	その他	上記以外の物		
消防車	消防ポンプ車	消火用ポンプ、ホースを装備した車両		
	梯子消防車	消火用ポンプ、ホースを装備し、梯子を備えた車両		
	化学消防車	消化剤を積載した車両		
	消防タンク車	水タンクを装備した車両		
	消防指揮・指導車	消防機器運搬車、査察車、動員車も含む		
	その他			
コンクリートポンプ車	ブームつき	生コンクリートを、輸送管を通して所定の高所及び距離に圧送する機能を有する車両		
	ブームなし	輸送管を現場で接続し、生コンクリートを所定の距離に圧送する機能を有する車両		
	その他			
環境衛生車	塵芥車機械式	圧縮式塵芥車	固形状の一般廃棄物、産業廃棄物を収集する装置を有し、荷箱を備えた車両	
		回転板式塵芥車		
		荷箱回転式塵芥車(ロータリー)		
		その他の塵芥車		
		塵芥ダンプ車(深掘)		ダンプ機構を有し、ゴミを運搬する車両(含 天蓋付)
	衛生車	吸引装置を有し、し尿を吸い取る車両	じん芥車機械式	
	脱水車	脱水装置を有する車両		
	洗浄車	洗浄装置を有する車両		
	汚泥吸排車	汚泥吸引装置を有する車両		
	強力吸引作業車	強力吸引装置を有する車両		
	路面清掃車	ブラシ、吸じん、装置を有し、水タンクを装着した車両		
	その他			
	高所作業車	高所作業装置を有する車両		
	脱着コンテナ車	ダンプ式 自動車またはコンテナに装備された動力を用いてコンテナの積卸し、後方に傾けて積載物を放出する車両 機械装置(クレーン、フォークリフト等)を用いてコンテナの積卸しをする構造の車両		
その他	トラッククレーン	トラッククレーン、オールテレーンクレーンで吊上げ装置を有するが、荷台のない車両(除くもの:荷台を有するクレーン車、レッカー車、建柱車、ホイールクレーン)		
	空港用作業車			
	道路作業車			
	除雪車			
	穴掘建柱車	穴掘、ホール吊上げ装置を有する車両		
	レッカー車	吊上げ装置、けん引装置を有する車両		
	その他			

別集計			
テールゲートリфта	テールゲートリфтаを有する車両 (取付架装台数)	アーム式	テールゲートリ フタを有する 車両 (取付架装台 数)
		垂直式	
装置のみの生産数 [*]	装置のみの生産数 [*]	テルト式(後部格納式)	装置のみの生 産数 [*]
		床下格納式	
クレーン付トラック (*)	クレーン付トラック (*)	福祉及びワンボックスゲート	
		その他(上記以外)	
脱着コンテナ (*)	脱着コンテナ (*)	アーム式	
		垂直式	
		テルト式(後部格納式)	
		床下格納式	
		福祉及びワンボックスゲート	
		その他(上記以外)	
		荷台を有し、クレーンを装着した車両	
		装置のみの生産数	
		コンテナのみの生産数	

注1) 国内台数と輸出台数を分けて記入

注2) 表中*印は、装置のみを生産した数量

注3) 2024年度より車種別区分を細分化して有効な生産データとする。

(2) 特種車

用途	車の大きさ	国内台数								国内合計	輸出台数	輸出台数
		大 型		中 型		ラ イ ト		小 型				
		トラック	バス	トラック	バス	トラック	バス	トラック	バン			
医療 防 疫 用	胸部レントゲン車											
	胃及び胃胸部レントゲン車											
	子宮がん検診車											
	乳房検診車											
	検診車											
	歯科検診車											
	採血車											
	動物医療防疫車 その他()											
保 健 用	患者輸送車											
	車いす移動車											
	入浴車											
	寝具乾燥車											
	その他()											
緊 急 用	救急車											
	高規格救急車											
	ドクターズカー											
	血液輸送車											
	救助工作車											
	警察車											
	警察パトロールカー											
	護送車											
	消防指揮車											
	標識車											
	その他()											
公 務 用	図書館車											
	移動電話車											
	トイレット車											
	野犬捕獲車											
	その他()											
作 業 / 工 作 用	ガス作業車											
	水道作業車											
	下水作業車											
	道路維持作業車											
	通信作業車											
	林野作業車											
	水防作業車											
	機械工作車											
	外線工事車											
	電源車											
	照明車 その他()											
検 査 測 定 用	測定車											
	検査車											
	試験車											
	観測車											
	探査車											
	その他()											
放 送 通 信 用	衛星中継車											
	テレビ中継車											
	通信中継車											
	ラジオ中継車											
	取材車 その他()											
広 報 宣 伝 販 売	移動販売車											
	食堂車											
	広報宣伝車											
	商品展示車											
	移動広告車											
	その他()											
サ ー ビ ス 用	移動銀行車											
	現金輸送車											
	霊柩車											
	教習車											
	ハウスクリーニング車											
	活魚運搬車											
	事務室車											
	競走馬運搬車											
	タクシーキャブ											
	人員輸送車 その他()											
娛 楽 用	キャンピング車(自走用)											
	移動ハウス車											
	その他()											
そ の 他												

- ・国内台数と輸出台数を分けて記入
- ・キットで販売したもの(含 ノックダウン)は部品扱いとし、組立架装したメーカーの生産台数とする
- ・該当する車名がない場合は「用途別毎のその他」或いは「その他欄」に記入

(3)トラック ※注1

項 目		解 説	
運 転 台 ※注2	普 通	シャシメーカー依託量産品で、キャブ単体で出荷した場合のみの台数 ／乗車定員3名以下のシャシメーカー運転台(キャブ) ※キャブカットなど改造したものは含まない	
	特 殊	ダブルキャブ、消防車キャブ、クレーンキャブ等	
普 通 荷 台 ／ 平 ボ デー ※ 注1	標準型(シャシメーカー標準車) ※注3	シャシメーカー依託量産品 (シャシメーカーのカタログに記載されているもの)	
	普通型あおり (450mm以下)	アルミブロック	一方向、三方向、平床荷台等(含 二重あおり) その他には、スチール(鉄製)、ステンレス、コールゲート*を含む
		木製	
		その他(スチール・コールゲート等)	
	深あおり	アルミブロック	*コールゲートとは波板を指す
		木製	
		その他(スチール・コールゲート等)	
	チップ運搬車		チップ運搬用車両
	車 輛 運 搬 車	オートバイ積(雑貨兼用)	乗用車、小型トラック、オートバイ等を運搬する車両
		1台積	
		2台積	
		3台積	
		4台積以上	
	車 輛 運 搬 用 ト ラ ク タ	セミトラック	シャシメーカーの標準トラックを使用するもの ※普通トラック、ダンプ車等の改造車は含まない
		フルトラック	
産 業 機 械 運 搬 車	車両傾斜式	建設機械、ショベルカー、フォークリフト等を運搬する車両	
	荷台スライド式		
	その他		
家畜運搬車			
側 面 開 放 車 (幌製)	ハネ上げ式	登録上、平ボデー(キャブオーバー)扱いとされるもの	
	カーテン式		
コンテナ兼用車		平ボデーに緊締装置を付けてコンテナも積めるようにしたもの	
脱着ボデー(水平脱着) ※注4		アウトリガーにより、シャシと荷台(荷箱)を脱着可能としたもの	
その他			

*簡単な後付架装、部品取付、加工、改造は除外

注1)トラック車体として台数カウントするもの

床と鳥居(前立)付の荷台を製作した場合に生産台数としてカウントしてください。

注2)「運転台・普通」は、シャシメーカー依託量産品で、キャブ単体で出荷した場合のみの台数を記入してください
(キャブカットなどの改造は記入しないでください)

「運転台・特殊」は、ダブルキャブ、消防車キャブ、クレーンキャブの製作台数を記入してください
(キャブカットなどの改造は記入しないでください)

注3)「標準型(シャシメーカー標準車)」は、シャシメーカー依託量産品(シャシメーカーのカタログ記載車両)を記入してください

注4)脱着ボデーは水平脱着車を記入

注5)キャブトラック台数は乗用・商用車台数でカウントし、トラック車体には加算しないでください

注6)ボトル運搬車はバン型車台数表に記入

(4)バン ※注1

項目		解説
ドライバン		運転室と別個に固定した側壁で屋根を有する車両で、冷却装置のないもの (観音ドア、ハネ上げドア、シャッター式、手動式、スライド式を含む)
冷凍車 ※注2	機械式 ※注3	冷凍機を有する車両 *特徴図面参照
	蓄冷式	蓄冷装置を有する車両 *特徴図面参照
保冷車		断熱材の側壁を有する車両 ドライアイス、保冷剤で温度を保つ構造の車両
オープンバン		運転室と別個に固定した側壁で屋根がないもの
ウイング	ドライ	上記ドライバンの側壁が開放出来るようになっている車両 但し、幌製は除く (トラック車体の分類に記入)
	冷凍 (機械式) ※注4	側壁が開放出来るようになっている車両で、冷凍機を有するもの
ウォークスルーバン		運転室と荷物室が通路により連絡されている宅配専用車両等
ボトル運搬車 ※注5		清涼飲料水を運搬する専用車 (ベンディングカーを含む) ・ボトル運搬車 … 主に清涼飲料水を工場から集配センター等に配送する車両 ・ベンディングカー … 主に清涼飲料水を自動販売機や店売り小規模(小売)店に配送する車両
その他		

*簡単な後付架装、部品取付、加工、改造は除外

注1)バン型車体として台数カウントするもの

5面体または6面体等を組み立てた場合に生産台数としてカウント

注2)冷蔵車は冷凍車欄に加算

(冷蔵車と冷凍車の違いは庫内の冷却温度差だけであり、現状は冷凍車が冷蔵機能を有する車両であるため)

注3)液体窒素式の冷凍車は、機械式として集計

注4)ウイングの冷凍車は、機械式を指す (ウイングの保冷車や蓄冷式車両は現在作られていない)

注5)ボトル運搬車にはベンディングカーを含みます

(5)トレーラ ※ 注1

* 2023年までの区分は下記に表示しています。↓

項 目		解 説		旧区分
低床	低床	ゲースネックを有する低床荷台のもので、建設機械・プラント機器等の運搬用トレーラ		
	中低床			
平床 (あおり付を含む)	1軸	スタンション型、船底型、あおり付等のトレーラ ※平床荷台を有するトレーラで、主として鋼材、パイル、橋梁及び木材運搬などに用いられる 煽り付はこれらに加え雑貨対応も可 ※段付は平床の後部荷台を低床化し、積載容量の増加を図ったもの		
	2軸			
	3軸			
平床 (あおり付 を含む)	段付	1軸		
		2軸		
		3軸		
パ ン	ドライ	箱型で後面及び側面にドアを有するもの		
	冷凍	ドライはオープントップ、保冷トレーラを含む 側面開放は幌製ウィングを含む		
	側面開放			
コ ン テ ナ 用	20'	コンテナを緊締する装置を有するトレーラでコンテナ運搬専用のもの		
	40'	20'は24トン積を含む		
	その他	35'、45'及び内貨用はその他に入れる		
タ ン ク	石油類		灯油、軽油、重油等の危険物の運搬用トレーラ	セメント 飼料
	粉 粒 体	エア式(セメント・フライアッシュ等)	エアレーション式	
			エアスライド式	
		スクリュー式(飼料など)		
	高压ガス	LPガス等の運搬用トレーラ		
	ミルク・食品			
	その他			
ダンプトレーラ				
ボール		柱、丸太、パイプなど長尺物の積荷自体がトラクタとトレーラの連結部を構成するトレーラ		
車 輛 運 搬 車 ※注2	セミトレーラ	自動車の搭載に適した骨組構造を有するもの フルトレーラにはセンターアックス型を含む		
	フルトレーラ	※トラクタ部については、「3.トラック車体生産月報」に台数欄有り		
フルトレーラ		バン型等のフルトレーラ		
その他				
構内用		公道を走行しない車両で、車検登録を必要としないもの		

*簡単な後付架装、部品取付、加工、改造は除外（サイドガード、あおり等 部品部材の取付のみは除外）

注1)トレーラとして台数カウントするもの

新車で自社名の車名登録をした場合を 生産台数としてカウント

注2)車輛運搬車は 乗用車積載トレーラを記入

車輛運搬車のトラクタ部については 「(3)トラック車体台数表」でカウント

注3)トレーラにタンク架装のみを行った場合は除外

注4)基準内とは保安基準の規定内車両、基準外とは保安基準の規定外車両

注5)2024年度より車種別区分を細分化して有効な生産データとする。

(6) バス

項 目	解 説
路線バス	路線運行用に供されると考えられる車両 (ワンマン、ツーマン車、高速ワンマン)
観光バス	観光用に供されると考えられる車両 (貸切観光、定期観光、特定旅客、無償旅客など青ナンバーのもの)
自家用バス	上記以外のもので、白ナンバーのもの
ハイデッカ	車高 3,300級(中型は3,100以上)の車両
スーパーハイデッカ	車高 3,500級の車両
ダブルデッカ	車高 3,700級の2階建の車両
ノンステップ	扉のステップ面がそのまま床になっている車両
ワンステップ	ステップの2段目が床となる車両(大型・中型・小型)
ツーステップ他	ステップの3段目が床となる車両等(大型・中型・小型)
リフト車両(内数)	昇降リフトを装着した車両 (スロープ板を装備した車両は除外)

大きさ分類 詳細 …… 乗車定員11人以上が対象

(1)大型:9m以上、又は定員50人以上のもの

(2)中型:大型、小型以外 ……MK(三菱)、LR、RJ、RR(ジェイ)、RM(日デ)等

(3)小型Ⅰ:全長7m以下、全幅2.3~2.5m程度のもの ……MJ(三菱)、メルファ(日野)等

(4)小型Ⅱ:全長7m以下、全幅2.0m程度のもの ……ME/ローザ/リエッセ/コースター/シビリアンクラス

(5)通勤用:小型Ⅱ以下の車体寸法で乗車定員11名以上のもの

……ハイエース通勤用(輸出)、キャラバンの12人乗り以上&輸出の多人数乗りクラス

(7)乗用車及び商用車

項 目		解 説
乗 用 車	セダン、ハッチバックタイプ	3ボックスタイプ（含 クーペ）の車両
	ステーションワゴン	2ボックスタイプの車両 ex.カルディナ、アベニール
	ミニバンタイプ	セミボンネットタイプの車両 ex.エルグランド、レジアス、キャブワゴン、イプサム、プレーリー
	オフロードタイプ	ex.サファリ、ランドクルーザー、パジェロ
	キャブオーバータイプ	1ボックスタイプの車両
商 用 車	ツーボックスバン	
	キャブオーバーバン	セミボンネットタイプを含むバン ex.ハイエース
	キャブオーバートラック	セミボンネットタイプを含むトラック
	ボンネットトラック [シングルキャブ]	荷台室に屋根がなく、側板が運転台と一体となっているトラック
	ボンネットトラック [ダブルキャブ]	同上で、運転台に後席があるもの

注1)国内台数と輸出台数を分けて記入

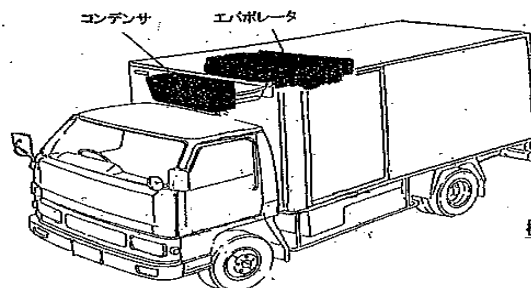
注2)簡単な後付架装、部品取付、加工、改造は除外

<その他特徴図>

冷凍車の特徴図

* 特徴図面

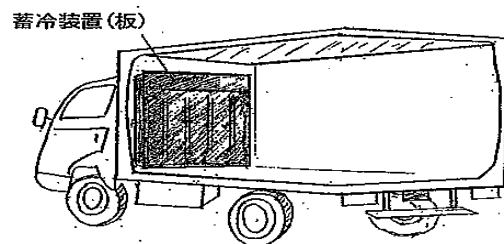
機械式 一例



機械式の特徴

- ・ 温度管理がしやすい
- ・ 急冷が可能

蓄冷式 一例



蓄冷式の特徴

- ・ 電気で蓄冷板を冷却するので車のエンジンに負担がかからない
- ・ 騒音が出ない
- ・ エンジン停止しても冷却力が変わらない
- ・ 夜間電力が使えるコストが安くつく
- ・ 夜間に荷積み作業ができる
- ・ 湿度の低下が少ないので乾燥を嫌う商品に向いている

温度帯 +10℃ ~ -30℃前後

平ボデーの鳥居構造図

